

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ウェディングデザイン（儀礼服飾） Wedding Design (Ceremony Fashion)		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	( )	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションビジネス関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟 3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<p>結婚式（ウェディング）における衣裳について、女子・男子の洋装・和装を学ぶ。また、人生の通過儀礼の服装について、デザイン、着装法をはじめ、歴史、意味、関連産業などについて学ぶ。若い学生にとって、結婚式は人生最大の行事である。ウェディングデザインやセレモニーファッションのコーディネート知識を持つことは重要である。ウェディングデザインを主として、セレモニーファッションの知識・技術・関連産業について学び、プランナーやアドバイザーとしての知識と技術を身につけることを目的とする。</p>				
授業の目標				
<p>①婚礼衣裳について、洋装・和装の衣裳デザイン、着装法、素材、構成法などを説明できるようにする。②実社会でコーディネーターやアドバイザーとして仕事ができるよう知識、着装法の技術を身につけられるようにする。③人生における儀礼行事の服装について、子供から大人まで、知識と着装法などが説明できるようにする。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について知識と技術を身につけられるようにする。⑤国家行事や国際的な行事の服装について、儀礼的な知識を習得する。</p>				
授業の方法				
<p>実物や資料を使用しての授業を教室にて実施。貸衣裳店での実情理解のために学外授業を1回行う（12月1週目）。特に大手貸衣裳店の実情を理解する中で、それぞれの衣裳のデザイン、着装法、コーディネート法などを学ぶ。興味を持って授業に望むためにレポートと、知識確認のためにミニテストを実施する。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>①婚礼衣裳について、洋装・和装の衣裳の特徴、着装法、素材、構成法などを説明できるようにする。②実社会でコーディネーターやアドバイザーとして仕事ができるよう知識、着装法の技術を身につけることができる。③人生における儀礼行事の服装について説明できる。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について知識と技術を身につけることができる。⑤国家行事や国際的な行事に関して、儀礼的服飾の知識を得ることができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、 人生通過儀礼の歴史と慣習			
第2回目	ブライダル業界の現状・関連産業			
第3回目	ウェディングドレスデザイン①新婦・洋装	デザイン、素材、着装法		
第4回目	ウェディングドレスデザイン②新郎・洋装	デザイン、素材、着装法		
第5回目	洋装における 昼・夜のフォーマル、 参列者のマナー			
第6回目	ブライダルのスタイル、キリスト教式、神前式、仏前式、人前式			

第7回目	トータルコーディネートとコーディネートの考え方、まとめ [小テスト]	
第8回目	日本のきもの（和装） ①和装の結婚式の変化 歴史・概説	
第9回目	日本のきもの（和装） ②子供の成長祝い＝宮参り、七五三、成人式、結婚式	
第10回目	日本の婚礼衣装（和装） （打ち掛け、白無垢、紋付羽織袴）特徴と着装法	
第11回目	学外授業（篠崎貸衣裳店）貸衣裳の種類と特徴、着装法、業務等を学ぶ[レポート]	
第12回目	日本の婚礼スタイル、美容・着付け・貸衣裳のスタイリスト業務、業界の実情	
第13回目	日本のきもの ③ 訪問着、社交着としてのきものTPO、卒業式の袴姿の着装、（きもの着装練習）	
第14回目	宮中行事（TPOの原点）、新春の和文化と着物生活、人生の節目の衣装と行事関連、長寿祝い [レポート]	
第15回目	海外事情、ひな祭り行事、プロトコール、喪服	
事前・事後学習	事前：行事と服装の関係（洋装・和装）に興味を持つ。事後学習：積極的にきもの着装や和文化に興味、関心を持つ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中し、積極的に自分の意見を述べるなど、評価の対象とする。
レポート	20%	課題の内容（第11、14回）を適切にまとめ、期限内に提出されているか評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	それぞれの授業内容が理解され、設問に答えられているかを評価する。
試験	40%	学習した内容が理解されているか、評価する。S評価の基準：S＝90-100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
きもの読本、授業時に資料を配布する。FORMALWEAR STANDARDS MANUAL 参考：ブライダル関連雑誌		
履修上の留意点・ルール		
積極的な授業参加を望む。コサージュ造りは実費負担（授業内で相談）。授業中の携帯使用厳禁。私語は慎むこと。		